

医療と社会

M1-90029L1

1 ユニットの概要

「医療と社会」で重視する学びのひとつは、前期「クリティカル・シンキング」と共通しており、「人間と社会・地域を良く知り、多様な人と良い関係で協働できる医師・人に成長する学び」である。

それとともに「医療と社会」が重視するのは、医学専門の知への接続を意識し、学生が「社会の中の医療と健康」に関して、深く、広く、理解するための学びである。

医療や医師の仕事は、広範に、様々に、社会の影響を受け、また、社会に貢献する。医師は「自然科学・生物医学」の観点だけでは見えない現実や問題に関わる機会も多い。医師が会おう、「患者」という面がある人のひとりひとりに人生や社会的な事情があること、そしてその人の近くで関わる人たちもまた社会の中に生きるひとりひとりであることをよく知ることも、「社会の中の医療と健康」の学びにとって重要である。

したがって、医師や医学生が、以下に列举するような話題や研究になじみ、理解を深めることは、これからの社会の医療にとって有用である。医師や医学生が、それらの知識や先行研究を学び、その知を生かした「医療、健康政策、地域・地域住民のヘルスプロモーションなどの考え」を的確に他者に伝えたり対話したりできるようになることは、これからの「医療活動」や「人の生や健康の状態がより良くなること」にとって有用である。

- 医療・健康・福祉に関連する人文学・社会科学や政策
- 社会（経済、政治などを含む）に関する知識や思考
- プライマリ・ケア、健康格差
- 健康や病の意味・価値、多様性、エンパワーメント
- 健康や病に関する意思決定・選択、ナッジ、パターンリズム
- 健康の社会的決定要因（SDH）、貧困、ソーシャルな（社会的）支援
- 諸国の医療運営、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）、医療と社会保障の関係
- 地域のヘルスプロモーションや健康格差問題解決の取り組み
- 質調整生存年（QALY）、医療技術評価、道徳的観点、医療・健康に関する資源の分配的正義
- グローバルな見方

あなたは「医療と社会」の授業で、大学1年生という早い時期から、「社会の中の医療」「健康・病・生き方と社会の関わり」「地域医療」「プライマリ・ケア」「医療・保健・福祉などに携わる医療従事者に有用な社会科学・哲学」「対話」などに注目するさまざまな知を本格的に学ぶことができる。また、問題発見、問題解決、政策などのクリティカルシンキングにも（一人で、もしくは複数人で）取り組む。

「医療と社会」の授業参加者には上記の様々な知識を身につけることが求められるが、それはただ自分ひとりに閉じた学びにとどまらず、「的確に解説できるような仕方で、また、将来の社会の中の医療で知を役立てられるような仕方で」知識を身につけることも重視する学びである。こうした学びの一環として、「医療と社会」では、複数回、提出課題を活用する授業も行う。積極的に取り組んでほしい。「各自が関心のある国の、医療運営の歴史と現在」や「各自が関心のある地域の、ヘルスプロモーションや健康格差問題解決の取り組み」について検索し、情報整理と考察・評価を行い、それを示し合い、さらに考える、そういう学びの機会である。

毎回の授業参加、ていねいな予習・復習、積極的な自学自習を求めたい。

2 金沢医科大学の学修成果（アウトカム）

- ① 豊かな人間性と倫理観
- ② 生涯学習
- ③ 医学知識と技術
- ④ 患者中心・チーム医療とコミュニケーション能力
- ⑤ 地域医療・社会貢献・国際貢献
- ⑥ 科学的態度・探究心

3 ユニットの学修成果（アウトカム）：

※カッコ内の数字は上記の金沢医科大学の到達目標との関連を示す。

- 授業内容を良く理解し、それを的確に解説することができる。(①、②、④、⑤、⑥)
- 「社会の中の医療と健康」の理解を深めることに役立つ社会科学・哲学の知識や先行研究を良く理解し、それらを医療や健康政策の問題（問題発見、問題解決の考察）に活用することができる。(①、②、④、⑤、⑥)
- いくつかの地域・国の医療運営の成り立ちと現在の取り組み、ヘルスプロモーション・健康格差問題の対策、それらの根拠になっている規範や科学的知見などを知り、それらについて対話し、考察し、将来どうあることが良いかの見解を述べることができる。(①、②、④、⑤、⑥)

4 学 習 方 略

講義の理解、資料読解、演習（授業内のワーク、ホームワーク）、これら全てを重視して、学ぶ。

5 評 価

評価区分	評価項目	評価の対象	評価割合
形成的評価	講義や読書資料の理解、また、その理解にもとづいて解説することの的確さ	知識・技能	
	ワーク・課題の取り組みと成果の良さ、問題発見・問題提起と考察の論述の良さ	知識・技能・態度	
	授業参加と貢献の程度（他の学生との協力や、良好な環境形成への協力を含む）	知識・技能・態度	
総括的評価	試験成績	知識・技能	60%
	演習成績（課題の評価、ミニットペーパーの評価、授業参加と貢献の評価など）	知識・技能・態度	40%
		合 計	100%

（特記事項）全ての課題の提出が必須である。提出期日を過ぎ、大幅な減点対象となることが分かっていても、それを提出しないままでは「総括的評価（合計）」は60点を越えない。また、ホームワークや課題の作成ルール違反の提出物は、これを剽窃とみなし厳しく評価・指導する。

6 授業スケジュール

別項参照

7 事前事後学修について

【自己学習（準備学習）に必要な時間】

1 時限あたり 予習：40 分、復習：60 分

8 課題（試験やレポート等）に関するフィードバック

授業で学んだキーワードや知識の解説、読書資料の要約などが的確にできているかということについては、講義で全体に対して解説する。その際、数名の学生の解答や提出物を（実名もしくは匿名で）例示し、それにコメントや補足解説をすることでフィードバックとすることもある。また、教員が学生にするフィードバックが常に最も効果があるということではなく「学生どうしのコメント」や「セルフチェック」が有用な場合も多い。適宜これらを使い分ける。

9 教育担当者

ユニット責任者：菊地 建至 一般教育機構 医療人文学

担当教員：菊地 建至 一般教育機構 医療人文学

10 参考図書・文献

授業で配布される読書資料を精読することが重要である。また、授業でそのつど、参考書や自学自習の情報を提供するから、積極的にそれらにも取り組むとよい。下記の4冊は、開講前からざっとでも読むことを勧める。

- 1 孫大輔 [2018] 『対話する医療——人間全体を診て癒すために』 さくら舎
- 2 近藤克則 [2017] 『健康格差社会への処方箋』 医学書院
- 3 大竹文雄 [2019] 『行動経済学の使い方』 岩波書店
- 4 マイケル・マーモット [2017] 『健康格差——不平等な社会への挑戦』（栗林寛幸[監訳]）日本評論社

第1学年

医療と社会

学期	回数	開講日	時限	区分	講義・実習内容	コアカリ項目	講座名	教員名
後	1	10月28日（火）	6	講義	「医療と社会」イントロダクション、社会の中の医療と健康、プライマリ・ケア、健康格差	PR-01-02-02, PR-03-01-01, PR-03-01-02, PR-04-01-02, GE-01-03-02, GE-	一般教育機構 医療人文学	菊地准教授
後	2	10月31日（金）	2	講義	社会的なものと健康の関係、貧困、「総合的に患者・生活者をみる」などに関する知識を得て、考える	PR-01-02-02, PR-03-01-01, PR-03-01-02, PR-04-01-02, GE-01-03-02, GE-	一般教育機構 医療人文学	菊地准教授
後	3	10月31日（金）	3	講義	ケア、病の経験や意味、人生、選択、エンパワーメント、対話	PR-01-02-02, PR-03-01-01, PR-03-01-02, PR-04-01-02, GE-01-03-02, GE-	一般教育機構 医療人文学	菊地准教授
後	4	11月07日（金）	2	講義	諸国の医療運営・社会保障の歴史と現在、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ(UHC)、健康の社会的勾配	PR-01-02-02, PR-03-01-01, PR-03-01-02, PR-04-01-02, GE-01-03-02, GE-	一般教育機構 医療人文学	菊地准教授
後	5	11月07日（金）	3	講義	<u>提出課題を活用する授業(各自が関心のある地域のヘルスプロモーション)、医療技術評価(HTA)</u>	PR-01-02-02, PR-03-01-01, PR-03-01-02, PR-04-01-02, GE-01-03-02, GE-	一般教育機構 医療人文学	菊地准教授
後	6	11月14日（金）	2	講義	グローバルな貧困や健康格差への対応、道徳的コスモポリタニズム	PR-01-02-02, PR-03-01-01, PR-03-01-02, PR-04-01-02, GE-01-03-02, GE-	一般教育機構 医療人文学	菊地准教授
後	7	11月14日（金）	3	講義	ソーシャルな(社会的)支援、地域の医療・健康・福祉	PR-01-02-02, PR-03-01-01, PR-03-01-02, PR-04-01-02, GE-01-03-02, GE-	一般教育機構 医療人文学	菊地准教授
後	8	11月21日（金）	2	講義	<u>提出課題を活用する授業(各自が関心のある国の医療運営の歴史と現在など)、健康の価値</u>	PR-01-02-02, PR-03-01-01, PR-03-01-02, PR-04-01-02, GE-01-03-02, GE-	一般教育機構 医療人文学	菊地准教授
後	9	11月21日（金）	3	講義	健康や病に関する意思決定・選択、ナッジ、パターンリズム、対話	PR-01-02-02, PR-03-01-01, PR-03-01-02, PR-04-01-02, GE-01-03-02, GE-	一般教育機構 医療人文学	菊地准教授
後	10	12月05日（金）	2	講義	ユニット試験に向けての復習講義、質調整生存年(QALY)、健康格差の問題解決やヘルスプロモーションの実践と研究	PR-01-02-02, PR-03-01-01, PR-03-01-02, PR-04-01-02, GE-01-03-02, GE-	一般教育機構 医療人文学	菊地准教授
後	11	12月05日（金）	3	講義	医療・健康に関する資源の分配的正義、医療技術評価、道徳的観点	PR-01-02-02, PR-03-01-01, PR-03-01-02, PR-04-01-02, GE-01-03-02, GE-	一般教育機構 医療人文学	菊地准教授
後	12	12月12日（金）	2	講義	ユニット試験に向けての復習講義、「医療と社会」発展編	PR-01-02-02, PR-03-01-01, PR-03-01-02, PR-04-01-02, GE-01-03-02, GE-	一般教育機構 医療人文学	菊地准教授
後	13	12月12日（金）	3	講義	「医療と社会」発展編、これまでの学びも十分に生かした提出課題を活用する授業(各自が関心のある地域の、ヘルスプロモーションや健康格差問題解決の取り組み)	PR-01-02-02, PR-03-01-01, PR-03-01-02, PR-04-01-02, GE-01-03-02, GE-	一般教育機構 医療人文学	菊地准教授
後		12月18日（木）	1	試験	ユニット試験		一般教育機構 医療人文学	菊地准教授
後		12月18日（木）	2	試験	ユニット試験		一般教育機構 医療人文学	菊地准教授
後	14	12月19日（金）	2	講義	<u>これまでの学びも十分に生かした提出課題を活用する授業(各自が関心のある地域の、ヘルスプロモーションや健康格差問題解決の取り組み)</u>	PR-01-02-02, PR-03-01-01, PR-03-01-02, PR-04-01-02, GE-01-03-02, GE-	一般教育機構 医療人文学	菊地准教授
後	15	12月19日（金）	3	講義	最後の話	PR-01-02-02, PR-03-01-01, PR-03-01-02, PR-04-01-02, GE-01-03-02, GE-	一般教育機構 医療人文学	菊地准教授